

ネイティブ バチルス・ステアロテルモフィルス ピルビン酸キナーゼ

Cat. No. NATE-0649

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ピルビン酸キナーゼは解糖系に関与する酵素です。これは、ホスホエノールピルビン酸 (PEP) からADPへのリン酸基の移動を触媒し、1分子のピルビン酸と1分子のATPを生成します。

用途 バチルス・ステアロテルモフィルス由来のピルビン酸キナーゼは、ホスホフルクトキナーゼとピルビン酸キナーゼの遺伝子がオペロンを構成するという証拠を評価する研究に使用されました。1 また、ピルビン酸キナーゼ活性に与えるLys221活性部位の重要性を調べる研究にも使用されました。

別名 ピルビン酸キナーゼ; EC 2.7.1.40; 9001-59-6; ホスホエノールピルビン酸キナーゼ; ホスホエノールトランスフォスホリラーゼ; ピルビン酸キナーゼ (リン酸化); フルオロキナーゼ; フルオロキナーゼ (リン酸化); ピルビン酸キナーゼ; ピルビン酸ホスホトランスフェラーゼ; ATP:ピルビン酸 2-O-ホスホトランスフェラーゼ

製品情報

由来 バチルス・ステアロテルモフィルス

形態 凍結乾燥粉末

EC番号 EC 2.7.1.40

CAS登録番号 9001-59-6

活性 100-300 ユニット/mg タンパク質

緩衝液 トリスバッファー塩を含む凍結乾燥粉末、pH 8.5

単位定義 1ユニットは、pH 7.2、30°Cで1分あたり1.0 μmoleのリン酸 (エノール) ピルビン酸をピルビン酸に変換します。

保管・発送情報

安定性 2-8°C